たということだ。

西田氏の分析通りのことがここ ○三年はそれ

があったが、

湾岸戦争とか一九九四年の北朝鮮

を

その時々に国際的

な問題と日本 が同時に来

同

. 時危



毎月一回一日発行 昭和40年2月20日 第三種郵便物認可

2003

イラク戦と北 正念場の 日本外交を検証 朝 鮮問 題

Ш

(共同通信社政治部)

個に対応してきたものが今回は同時に来てしまっ めに、二〇〇三年の日本外交について「イラクと 安全保障の問題。この二つの問題は「これまで別 北朝鮮という二つの懸案を日本の利益に沿う形で 北朝鮮はまさに日本の 題。これに日本がどう イラクは国際社会全体 ある座談 初 ければ、 果が得られていない。 ラク攻撃に踏み切った。 内に入れるよう働き掛けてきた。日本がそうしな 決議を求める動きになったというのが外務省の言 ったと思われるが、 る部分では正しかった。 数カ月の間に展開されてい い分だ。 イラク戦争について、 しかし現実は、 米国はもっと単独行動主義に走ってしま 日本の働き掛けによって国 日本政府は米国を国連の枠 ただ、結果としてその 日本政府の取り組 国連決議がないままにイ みは

会で言っている。

つまり、

適切に処理することが最大の課題」と、

外務省総合外交政策局の西田恒夫局長は今年

かかわっていくか。一方、 で取り組む安全保障上の問

最終的に外され、 してきて、 北朝鮮に関しては日本政府は多国間協議を主張 北朝鮮は多国間協議を受け入れたが、 米政府にも働き掛けてきた。 米朝中の三カ国協議になっ その結 日本は

> ジ米国務副長官との間で日 鮮とイラク、二つの動きに対する私の アプロー イラクに関して日本政府は何をやってきた 昨年八月末に竹内行夫外務次官、 た通りにはなっていないというのが北 チとしては正しい 米戦略対話が 終段階で日 総括だ。

本政

朝

理解が得られない、と主張した。 はいけない、 「ブッシュ対フセイン」という戦いの構図にして い動きがあったのに対し、戦略対話で日 イラクに対して米国が単独攻撃に走りかねな イラク対国際社会の構図にしないと アーミテー |本側 開 かれ は 0

は言う。 国連決議を求める形で一応は動いた。 は「ちゃんと約束を守っただろう」と言ってき いまま、 ンス、ドイツの激しい反対で国連決議がなされ が採択され、年が明けてからも武力行使に対する 求めるよう働き掛けたのは、 た。 求めることを表明する。その後、アーミテージ氏 ブッシュ大統領は九月の国連総会で国連決議 曲がりなりにも米国を説得して国連の決議 三月二十日に戦争が始まった。 その結果、十一月に安保理決議1441 日本政府だと外務省 結果はフラ を

成 あ

早期の米支持表明

連

まれば小泉 される一 で、早くから支持表明を固めていた。 持しないで今後の戦 日本政府としては戦争が始まったら、 記者会見で支持を表明することを検討してい カ月ほど前 純 郎首相は一 略は立てられないということ から官邸サイドは、 時間以内に官邸に出 開戦が想定 戦争が 米国を支 始

、撃を支持した場合に、

三%、不支持が四三・三%。早期に支持の態度を 持の方が多いが、若干支持も増えている。戦争が なかった理由ではないかというのが官邸の見方だ。 明確にしたことと、 は支持が四三・三%、 の三月十五日の段階で支持が四 先すると言った。 に決着がついたことが、支持率の低下につながら ほぼ終わった四月十二日の調査では支持が四六・ が四一・五%。 は落ちていない。共同通信の世論調査では開戦前 下がるのではないかと官邸サイドは ぶつかったのが今回の動きだったと思う。 |連中心主義という、日本外交が掲げてきたもの 心主義を両立させると繰り返した。日米同盟と が、各社の世論調査を見ても今のところ支持率 小泉首相は戦争が始まる前に、日米同盟と国連 首相は明確に 開戦の二十日、二十一日の調査で 戦争が一カ月に満たないうち !国連中心よりも日米同盟を優 不支持が四四・九%で不支 内閣支持率が10 心配 不支持 してい ジャぐら その

探りのイラク復

ていないという大きな問題があるが、 してい 後復興に取り組み始 息が明らかでないし、 イラクの戦後をどうするか。 を中心とする復興人道援助室 .後復興に向けて動きは始まっている。一つは 方 めている。 イラク人による暫定政 大量破壊兵器が見つか フセイン大統領 日 ORHA が 本も文民を派 既にイラク っ 権 0

> 人がいない。幅広い支持を得た政権を作るのは難 しい。その中でどう復興新政権を作っていく たちは一掃されてしまい、 が、イラクの場合はフセインによってそういう人 支持を得てきたカルザイ氏のような人材がいた I 日本政府の関与だが、人的派遣、人道的 ·探りの作業が続いている状況だ。 には国内で反 づくり が 始まっている。 (体制派として活動し、 国民的支持を得られる アフガ 国民の ベニスタ 援助、 0

とがないという状況だ。 が、 を通じた支援を行う。 とだ。人道的援助としては周辺国支援や国際機関 は日本政府が払う。外相の指揮の下で連絡要員と あくまでも外務省職員としての長期出張で、給料 ぐらいの要員を四、 る。人的派遣では、 そして自衛隊の派遣とポイントは三つぐらいあ 万人とか百万人規模で発生すると言われてい して情報収集、復興支援の手伝いをするというこ ってきた。日本政府としては今のところ、 は二家族十数人という状況で、 とイラクの国境に日本の医師団が行ったが、難 大きく外れて難民の発生がなかった。シリア 五人、ORHAに派遣する。 外務省を中心に課長かその上 戦前の予想では難民 結局、 医師団も帰 するこ び六十 民 た

要請ない自衛隊派遣

を作ることを政 展開されず、 衛隊の派遣だが、昨年暮れからイラク戦争後 テロ対策特措法ではイラクには人は 自 府は検討してきた。 衛隊を派遣するために新しい法律 PKO部隊は

> く ラの復旧だが、 待されているのは道路や橋を作るといったインフ 出 除去はできると言っているが、 点攻撃なので高速道路が壊されている状況ではな に自衛隊 いないのが現状だ。 日せない 自衛隊 外務省は今の自衛隊法でも戦争終了後の機 ので、 派遣の新法を検討してきた。 の派遣が求められるのかどうか。一 攻撃自体、 短期間で済んだし、 が必要だと官 それも求められ |邸を中 拠 7 雷 期

まで自衛隊新法をやる必要はないと考えて ずに早く閉じたいのではないか。 略とも絡む。 ではないか。 0) 延長してまで自衛隊派遣の法律をやる必要がある 六月十八日の会期末を越えて延長が必要になる。 議がヤマ場を迎える。この後に復興新法をやると かは、 国会では有事関連法案と個人情報保護法案の 秋の総裁選をにらんだ小泉首相の再選戦 私の想像では、 首相は国会は延長せ 会期を延長して いる 審

多国間協議受け入れた北朝

きが激しくなっている。 省にそれだけの情報 われが十一日にそういう記事を出したのも、 と、多国間協議に応じる方針を出 るならば協 のスポークスマンが という記事を配信したが、翌十二日に北朝鮮政 「北朝鮮 イラク情勢の動きの一方で、 は多国間協議に柔軟な姿勢を示している」 |議の在り方は柔軟に考えてもい が入っていたということだ。 「米国が大胆に政 共同通信は四月十 北朝鮮 してきた。 策を変更す でめぐる動 一日 . [n

みの中で米朝もやろう、 まった。 を求めてきた。これに対して、 ってきた。 していて米朝協 るならば核問題で譲歩を考えてもいいと米朝協議 朝間の問題も多国間の枠組みで協議しようと言 米朝協議 の取引をするつもりはないと多国間協議を主張 日 韓国と話し合うつもりはない。 の三カ国ではあるが一応、多国間の協議が始 侵条約を結べと要求し、 い始め、 一本の六カ国協議を働き掛けてきた。 鮮は昨年十月にウラン .鮮が多国間の枠組みの中でやってもい 日 ができないのであれば、多国間 中国が北朝鮮に働き掛けた結果、 本は南北朝鮮に米国 議が成り立たなかった。日本政府 その核問題について北朝 ミサイルとか拉致とかの 金正日体制を保証す 米国は北朝鮮と個 米国に対して による核開 中国、 。その結 鮮 [の枠組 ロシ がは日 米い 発

難しい交渉

状況で米国 ど金正日総書記の動静が一切明らかにされなかっ 争を非常に気にしていたことは間違いない。一つ イン政権が倒された。 究しているとか言われたが、 |の協議 山にこもって米国が攻めてきたときの対応を 朝鮮 りの見方がある。 の態度の変化について、 [と対 を受け入れた背景にあるという見方が 短期間 話 する以外にない 開戦のころから五十日間 イラク戦争で短期間にフセ にフセイン 総書記がイラク戦 外務省の中に と考えたことが 世が倒され ₹ た ほ

> した)。 始まる どういう言い方をするのか、 ある。 がある。 することを考えている。 米国と話し合う姿勢を見せておくという見方 もう一つの見方は、 (北朝鮮 米朝中の協議 三カ国協 で核開発につい それまでの時間稼 北朝鮮は核兵器を保有 |議で核兵器保有を表明 非常に難しい交渉が て北 朝鮮 ぎとし が

政府としては、米朝が決裂しないで二回 ら日韓を参加させる約束は得ていると言っている 歓迎している。 が、二回目がいつになるのかは分からない。日本 61 日本政府は、 でくれることを期待 米国と中国からは二回目の協議 まずは米朝中協議が始まることを している。 目につな

か

米国の動きが焦点

佐官や、 ドイツ、 に関して新しい国連決議ができるのかどうか、 導権を放す気はないと言っている。 国連中心と言っているが、 米国もヨーロッパもイラク戦後の復興に関しては ドイツ、ロシアという形で激しくぶつかった国 しい外交が展開 が、もう一度まとまることができるのかどうか。 アンでサミットがある。 ことが課題になる。六月一日からフランスのエビ が、これからどう国連にかかわっていくかという 議 イラク戦争で国連中心という旗を降ろした日 長 (国であるギリ ラムズフェルド国防長官などは米国の主 フランス、 されるだろう。 スペイン、 シャを 米国と英国対フランス、 一方でライス大統領 回 小泉首相は英国 欧州連合 Ŧi. イラクの復興 月中に米国に Ê U 激 補 連 本

> ちと、 行く。 るが、 ながら見ている。 るのか。日本政府としても注意深く、 指摘されている。これが北朝鮮問題でどう出てく フォウィッツ国防副長官といった広い意味でのネ オコン(新保守主義者)、 をするのか。 から非常に難しい重要なポイントになってくる。 る。米国とどう付き合うかが、 レゼンスを示す。 北朝鮮に対しては米国も平和的解決と言って パウエル国務長官ら穏健派との イラクの後に北朝鮮に対してどういう対応 Л 口外相 ラムズフェルド国防長官とかウォ には連 米国にも 休中に中東を 強硬派と言われる人た 日 きたい 本にとってこれ 回 ŋ と考えて 懸念も持ち 路線対立 Н 本の ル

ないか。 北朝鮮をめぐって大きな展開が出てくる可 頭に入れて米中が動 問題もあるが、 の最近の動きに対して不快感を持っ の仲立ちをするということは、 はあまり積極的ではなかったが、 に対して、 を流したという話が流れた。 いるのではないか。中国はこれまで多 ェルド国防長官が「金政権を変える」というメモ 北朝鮮をめぐる動きで気になるのは、 って目 米中でどこまで話ができているかという が離せない。 米国は金体制を変えてもいいと思って 北朝鮮の き始めているのではな 体制変更ということまで 北朝鮮の金正 中 ここにきて米朝 国 ているのでは 自身も北朝 国間協議 ラムズフ 能性 日

部を要約 四 月 士 二日 同 盟クラブでの 演 会

米仏対立の背景を考える力の論理に譲らぬ原則

秋山民雄

(共同通信社元論説委員長)

い。「戦闘終結」宣言後も、修復の兆候が見えてこなにその中核、米仏対立は、ブッシュ米大統領のにその中核、米仏対立は、ブッシュ米大統領の

いない。

で見込み違いがあるかもしれない)。 ン・サミット これからイラク国内が安定の方向 やでも交渉せざるを得ない。 持つことになる 一去の賠償支払いなどさまざまな問題で、 制裁の解除、 (先進国首脳会議) で歩み寄ること 戦後復興、 (本稿はその前に書いているの それまでの時期が重要な意味 石油利権、 六月初めのエビア に進めば、 対外債務と 両国は 経

安保理の対決

だった。 印象づけたのは国連安保理のイラク問題討議の場のめて指摘するまでもなく、米仏対立を鮮烈に

一致で採択した。
を、アラブ強硬派とされるシリアまで含めて全会い限り、重大な結果を招くとする決議1441安保理は昨年秋、国連査察に全面的に協力しな

> 初めて実行に移された。 攻撃も辞さない、というブッシュ・ドクトリンがり、米国の安全を脅かす可能性のある国には先制

していた。 して、平和主義から反対するドイツとは一線を画し、その後も決議があれば参戦するとの態度を示し、その後も決議があれば参戦するとの態度を示フランスは1441決議の全会一致採択に努力

行使を明言するまでになった。を容認するいかなる決議にも反対する」と拒否権手段」と主張するようになり、最後は「武力行使手段」と主張するようになり、最後は「武力行使

当初は戦後の石油利権や戦後復興への関与をに対する多極構造を掲げるようになり、戦争の合に対する多極構造を掲げるようになり、戦争の合に対する多極構造を掲げるようになり、戦争の合に対し原則論で譲らないとの姿勢を明白にしたのに対し原則論で譲らないとの姿勢を明白にしたのである。

がった。 対立は決定的になり、米国民の間に反仏感情が広ていただけに、「裏切られた」という感情が強く、不知は、フランスがいずれは妥協すると予想し

子供じみてみえるが、不気味さも感じる。ている。超大国の有力政治家たちの行為としてはライドが傷つけられたという意識の強さを物語っする騒ぎが連邦議会食堂にまで及んだことは、プロレンチフライを「フリーダムフライ」に改名

た。外交的には米国の惨敗となり、

決議採決を明

言していたブッシュ大統領は沈黙した。

米英両国は決議なしの戦争に踏

み切

あ い ま

奪には反応しなかったという事実は象徴的だ。 特に仏独両国にとっては、 ドに入った米英軍が石油省は守ったが、博物館略 テロ 一方の米国にとっては、 「が多いために、 東と地理的に近く、 .題討議という取り合わせの悪さがある。 深刻化の の根源としての関係が中心だ。バグダッ イラク問題は国 歴史的にも関係が深い。 イスラム教徒の移民労 中東は石油の供給 :理という舞台での |内問題でもあ 欧州 中

していたとしても、 安保理では、 対する反応だった。 ルド国防長官の発言など、米側の挑発的な行動 フランスが態度を硬化させていった理由 仏独を「古くさい欧州」とけなしたラムズフ シュ政権にとっては愉快な状況ではない。 両国は常任理事国として拒否権を持ってい 一の超大国である米国、 現在の世界の力関係とはかかわり これでそのタイミングは失わに。仮にフランスが妥協を考慮 特に強硬派が主流 の一つ

的な支持を得たことを感じ取って、 たことだ。 へと傾斜していっ 欧州でイラク攻撃反対 最 大の 世 論に応えた反対表明がさらに国際 理 由 たようにみえる。 [は英国 の世論が圧倒的 |など米国支持国 原則論的な反 に強か 置を含

の演説だ。 そのハイライトが、 戦 争、 占 安保理でのドビルパン仏外 蛮 行を経 験した欧州

米国

と呼び掛け、 れないところまで踏み込んでしまった。 を決める演説だった。 という古い大陸 「自らの 人類のために立ち上がってきた」とし 価値観に忠実に、果敢に行動したい」 大きな拍手を浴びた。 の古い国」 同時にフランスは引き下 フランスは 安保理 常 の流れ に 歴 が 史

うか。 まで一年半の米仏関係の舞台裏を検証したルモン 発想源だと感じた。 る」という印象を漏らした。シラク大統領の 初めてブッシュ大統領と会談した国家元首だった 衝突という最悪の事態を招いたと結論付けている。 ド紙の特集記事は誤解、 いうブッシュ政権の強い意思を読み違えたのだろ この記事によると、シラク大統領はテロ事件後 フランスはあくまでもイラク攻撃を実行 ライス補佐官がブッシュ政権の独断的思考の ブッシュ大統領は後に「もったいぶって 9・11テロ事件から公然たる対立にいたる 不信、あいまいさが正面 すると 方 (V)

批判発言が飛び交った。 協力しないと最悪の事態を招くことをそれとなく るのを聞いて、フランス側出席者は驚き、 イラク側に 翌年初め フセイン政権追放、 軸 に伝えた。 の会議で、 発言があり、 同じ日 米国 中東再編を公然と口にす 両 国間 にブッシュ大統領の 側 出 席者がイラク攻 にとげとげしい 査察に

の採択にまでこぎ着けたのだが、 が査察完了を待つと考えていた。 でも両国間 で妥協が 成立. フランス側は、 1 米側 $\tilde{4}$ ば 1 決議 查

> 切れなくなると、 は、 たのである。 スは武力行使を支持すると考えていた。 察では成果が得られないことが分かれ 立場の違いをあいまいにするだけの妥協だっ 一月になってそのあいまいさが隠 破局は 避けら んなくなった。 実際に フラン

仏感情と反米感情

だちはこれまで最悪だっ いる。 国人は口をそろえて、欧 が一九九〇年代末から増えたことを明らかにして ンスを対象に口汚い悪口を浴びせる雑誌、 ひどいと話したとい L3 た。 両 国 この研究者が実地調査で言葉を交わした米 英国の研究者は、米国では欧州、 相 互 の国民感情はその前から既に悪化して た一九八〇年代初めより |州と欧州人に対するいら 特にフラ サイト

マルス)、 雰囲気が生まれたようだ。「米国人は火星 な生活を望み、美食にふける意気地なしだと見る に対し、 を目指しながら、結局は米国の軍事力に頼る欧 体ぶりがあらわになった時期である。 やユーゴスラビア空爆で安全保障面での欧州の弱 U)の統合は進展していたが、 分の反映だろう。 う新保守派(ネオコン) 冷戦が終結し、ユーロ 武器を取って悪と闘う気概を失い、 欧州は金星 (美神ビー 0) の導入など欧 論客の言葉は、 同時にコソボ問 ・ナス)だ」と 独自の方向 州 連 安穏 \widehat{E} 神 州 題

フランスはそのような欧州の代表格として反感 対象になっ た。 フランス人に言わせ n

0

だから、米国もやり玉に挙げやすい。が、非難中傷にめげないのがフランス人である。だっし。スケープゴート』にされる」のである。だ

フランスは米国の対英独立戦争を助け、独立百ろコンプレックスの裏返しとも感じられる。る。だが、ことさらにどぎつい中傷、悪口はむしる。だが、ことさらにどぎつい中傷、悪口はむして、この研究者は「欧州に対する米国の文化的コモ、土の研究者は「欧州に対する米国の文化的コールンプレックスは徐々に消えつつある。新しいロールプレックスは徐々に消えつつある。新しいロールが関係を関係を関係を表しています。

所集には「自由の女神」像を贈った国であり、外間年には「自由の女神」像を贈った国であり、外間年には「自由の女神」像を贈った国であり、外でとは別の次元で米国に親しみやあこがれを持っている。だが、飛び抜けて強大な国が傲慢な態度をとれば、反感が強まるのは当然である。ブッシュ大統領については、ピストルの引き金に手をかけたカウボーイというステレオタイプのイメージがあり、それは大統領自身も感じているようだがあり、それだけではない。

策をとったことなどが反感を増幅した。9・11テ 化を押し付けながら自国 崩 京都議定書 れてい |指す方向を妨害したこと、経済のグローバル 後は協調ムー ・った。 国際刑事裁判所などの が生まれたが、 鉄鋼、 農業には保護政 それも急速 間 題 つ で E Ū

原則と現実

性急なイラク攻撃に最後まで反対したのは、このフランスが国際法上の合法性、正当性を掲げて

「床方でないものは敏だ」という単純すぎる善米国のためにもなるという声は今でも多い。ったのは世界のために正しい行動であり、結局はれない。拒否権行使を公言してまで譲歩をしなかような積み重ねから考えれば、当然のことかもし

を持ち出すことに強い違和感がある。宗教対立に れ難い。ファストフード、 悪二元論は、多様性を尊ぶフランス人には受け入 たこともある大統領に、 しているのに聖書を引用し、 した政教分離を貫いている。 よる混乱を経験したフランスは、欧州で最も徹底 ビを見る大統領のいる国とはかみ合わない。 ホルモン入り飼料を使っ 「味方でないものは敵だ」という単純すぎる善 さらに、ブッシュ大統領が事あるごとに神の名 スナック菓子をかじりながら寝そべってテレ 歴史に対する無知 た食肉を嫌う生活様式 遺伝子組み換え作物、 十字軍の名を口にし イスラム国を相手に 現 状

退など、 代は変わり、力関係では米国が圧倒的に優位に立政権時代の両国関係は常に緊張を帯びていた。時 れて、 ったが、 え出ている。 くの国の支持がある。 係の修復には最低十年かかるだろうという見方さ イラク戦争で強大な軍事力を改めて見せつけ 反戦派は元気がないようにみえる。 今回は原則を貫い 過去にも何度か危機があった。ド 両国関係には、 たフランスの背 NATO軍事 米仏関 ーゴー -機構脱 :後に多 ル Ś

に対する無思慮を感じることになる。

ラク大統領の国内での人気は、勝ち誇るブッシュ米国の「報復」への不安は消えないものの、シ

のなら(それは世界にとって恐るべき事態を意 みえる強硬路線が国民 シュ政権も、 原則を降ろす 大統領に劣らず高 しかねないが) のは政 ネオコンに引き回されているように 融和的な態度はとりにくい い。これ 治的に から本当に支持され 難しい まで掲げてきた原 のであ ている ブッ

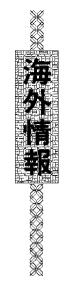
警告も聞 がある半面、 なかったのか、という問い掛けも生まれてい 掛けた。その中で、ただ「ノン」と言うだけでな ランスは原則にこだわってばかりはいられない。 が進んでいるためであり、 機)に向けないでほしい」と米国の経済界に呼び やハンドバッグ、飛行機 ブッシュ政権が交代するまでの我慢だという見方 益を損ねた」という批判も出始めた。 「原則としては正しいが、 不満があるなら大使館に言ってほしい。 そうはいっても、現実の利害が絡めば、 米国に対してもっと戦略的な働き掛けができ 的れる。 米国のフランス嫌いは国内の保守化 外交としては拙劣で国 (個人用小型ジェット 長期的な傾向だという 経済団体は ワイン

ある。 は巧妙さと厚 ランスの存在は必要不可欠なの 抗するとい が力を背景 はイラク問題で分裂し、仏独ベルギー 極構造に対抗する力はない。それどころか、 フランスが基盤とするEUには、 に屈 EUにとっても、 かましさを併せ備えた外交力で、 伏を強 開が続きそうに思える いようとすれ 米国に抵抗するフ ば、 ブッ 現 は 在 フランス シュ政 少数派 の米国 E U で

米国の直

接衛星放送ビジネスが本格的に展開

بخ



= 1 · ズ 社、 ・ドック氏の悲願成 衛星業界進 就

TVを傘下に収めるヒュー 規模の三分 併に乗り出していたが、 との判断が働いたとみられる。これに続いて、 おり、業界第一位と二位業者の合併は独占を生む 却下された(『新聞通信調査会報』 M) との間 ねて衛星放送事業への進出を狙っていたルパ 衛星放送業界は大手二社中心に寡占状態が続 た合意が親会社のゼネラル・モーターズ社 ズ社 (News Corp.) は、 社との合併案件は連邦通信委員会(FCC)に 「が主導して展開した、 (Hughes Electronics) わったことを受けて新たな候補として吸収合 マードック (Rupert Murdoch) 率いるニュ 貞 断を待つのみとなった。 世界的分 エコスター社の案件で報じられ で成立した。 |星放送業界で第二位のエコスタ な衛星放送帝国を築くこととな 1 残るは合併申請に対する 今年四月九日にディレク 業界第一位のディレクT ・ムズ』、 の経営支配権獲得に向 ·ズ・エレクトロニクス 先の合併案件が不 合併が完 四月 合併規模は六十 十二月一日 了す + <u>;</u> ればニ た合併 いて Ĝ か 1 í 調

> 訳は、 代半ばに中心的五社 V買収は、ニューズ社がケーブルテレビの有力コ べれば相対的にメディア媒体としての影響力は弱 順調な伸びを示しているとはいえ、ケーブルと比 在の二大プレーヤー から不安の声が上がり始めた。 月二十九日)。この数字は全米テレビ視聴世帯 スター社が八百四十万世帯 (sky report. com 四 業種と目されている。 ンテンツの提供者であることから、 ル・チャンネルを経由しており、衛星放送業界が (およそ一億六百七十万)の一八・五%を占める。 米国のテレビ視聴は六九・八%の世帯がケーブ しかし、今回のニューズ社によるディレクT が台頭したが、 U S S B 一月で二千万世帯に迫る順 めて十年近くが経過し、 ディレクTV社が千百四十二 蕳 アルファスター、 その後、 ・時代を迎えた。 (ディレクTV) 衛星放送業界は 再編統合を重 調な伸びを示して 世帯は二〇〇三 二万世帯、 プライムスタ 契約者数の内 ケーブル業界 エコスタ 九九〇年 一ねて現 エコ 優良 V3

とは潜 の選択 達交渉の局面で影響が出ることを恐れている。 大きな打撃を受ける。 ーブル業界は衛星放送 ューズ社主導の衛星放送サービスが番組伝送の別 年の ケーブル業界は、 (肢として視聴世帯に受け入れられれば、 在的 間 なケー П にわたる視聴料金値上げをしたこ ブ ĺ 事業成功の命綱となる番組 また、 離れの要因となっており への契約の乗り換えという ケーブル業界がここ ケ = 調

> 仮にニュ 速するであろう。 攻勢に出 1 - ズ社· れば、 傘下 さらにケー のディ レクTV から が の移動が 料金引き下 加

する際、 衛星に乗り換える可能性はさらに高まる。 に同様の展開をすれば、 フル活用 仮に米国でアメリカン・フットボー ニューズ社がヨー サッカー放送をキラーコンテンツとして 成果を収めたのは周 口 ッ パ で衛星 聴世帯がケーブル 放 知のことだが、 送事業を拡 ルの放送を軸 から 大

る。 Collins) の新聞社、 ガイド』や 作を手掛け、 知を広げてきた。さらに二十世紀FOXで映 1 かの主要エリアに区分けして展開するFOXスポ トワークであるFOXテレビを持ち、 点から言えば、 て常に注目を集める存在である。 今日、 ツチャンネルで各地域のテレビ視聴家庭 ニューズ社は世界的なメディア企業とし 社を所有しており、 出版のハー 『ニューヨーク・ポスト』を含む複 テレビ番組情報を提供する『テレビ 垂直統合型の経営戦略をとって パー・ コリンズ (Harper ディア経営の視 米国第四のネッ 全米を幾 への認 画 数

なる。 com 五 億世帯以上に番組を供給できる体制が整うことに 成功すれば、 の流れがある時期 風 衛星放送事業だけをとっても、 が 米国では共和党政権下でさらなる規制緩 月九日)。 吹 いてい アジア、ヨー る 州だけに、 と言える 金山 ・ロッパ 合併承認に向 勉 (washingtonpost =上智大学助教授) などを含めて一 米国での合併 けて追

Va

戦争とメディアを考えるイラク戦からサイバー戦へ

人然の 従軍取材許

進軍、イラク軍・民兵との交戦の光景をライブ映 ろう。一九九一年のペルシャ湾岸戦争時の米英軍 た米軍当局による埋め込み式従軍取材の許可であ る各国の記者、 大幅に上回る勢いで、総勢六百人になんなんとす による空爆のバグダッド現地生中継を質量ともに |初の戦場からの継続的ライブ報道| を可能にし 写真、記事で世界中に伝えた。 ・ラク 戦争最大のメルクマー カメラマンらが米軍部隊の砂漠の ルはやはり、「史

われた。

は突然の僥倖としてやってきた。 とっても、こうした大規模な従軍取 記者会見で、「歴史的な出来事」と自賛してみせ るラムズフェルド米国防長官は、ワシントンでの この埋め込み式従軍取材を考案したと伝えられ セス規制が強化される一方だったメディア側に が、二十年の長きにわたって戦闘の現場へのア 材許可はまず

二十年の長きにわたってというのは言うまでも 一年の英・ の現場取材の機会が奪われたまま遂行された ともに報道陣の島への上陸が許 アルゼンチン間のフォークランド紛 可されず、

手方を屈服せしめ、当局にとって地上の前線自体 ーゴスラビア空爆)では史上初めて空爆のみで相 形に到達したと言われ、九九年のコソボ戦争(ユ 特殊部隊などによる戦闘はメディアを遠ざけて行 れたアフガニスタン攻撃でも、ハイテク武装した た。9・11同時多発テロに対する報復として戦わ の消滅に伴い、アクセス規制自体が不要となっ などでこうした戦時のメディア統制は一種、 湾岸戦争では徹底したプール取材体制と検閲 八三年のグレナダ 侵攻以来という意味であ (北海道大学助教授) 完成

した。 局長らと、二度にわたり懇談の機会を設け、 米国防総省高官は米主要メディアのワシントン支 換は発表された。 時メディア統制をめぐる米軍当局の大きな政策転 取材の仕組みをどのようにつくり上げるかを討 たな戦争に悲観的な観測を募らせていた矢先、 こうした流れの中で、メディア側 正確には昨年十月と今年一月、 が迫りくる新 従軍 戦 議

員らが設立したジャー の機会を得ようと軍事担当記者、 米軍当局に働きかけて何とか現場取 ナリスト団体 歴戦の戦 「軍事担当記 争特派 材

> どうかは、 た方が望むような形にはならないだろう」とクギ アクセスの問題については検討しているが、あな 防総省を代表して出席した空軍少佐は を刺していた。 ったと言えるだろう。 やはり直前まで予断を許さない状況だ 当局が本当に政策大転換を図るか R E 0) + 月 の会合でも、 「戦場への

もに、 記者たちは色めきたった。 発表されると、前述のような過去の流れもあり、 などの敵のプロパガンダに対抗する最良の方法 フガン攻撃での経験から、民間人に犠牲者が出た は、信頼に足る記者らに自らの目で現場を見ても らうことと確信するに至った」との公式理由とと 「戦闘の大半からメディアを遠ざけて行っ 埋め込み従軍取材の概要と申し込み方法が たア

たもの、 の政策転換の意図について整理しておこう。 ていたというべきだろうか。 のバランスシートには予想外に負債の額も記され 分に、メディア自身も理解していた。 ぎないことは、 従軍取材が戦争の一断面をリポートできるに その功罪の問題を検討する前に、 百年を超すその歴史から事前に十 従軍取材がもたらし しかし、そ 側

米軍当局側の狙

ディア隔離政策から一転して、一見大きな譲歩と もとれる政策を打ち出したの 电 当局側の狙いについては既に多くの指 米軍当局はイラク戦争で、それまでの か。 その背景、

おくことは最優先の課題だった。 大量破壊兵器の存在にかかわる具体的な証 フガン攻撃では国際社会もおおむね米国の行動に たテロ攻撃に対する直接の報復として行われたア に対する攻撃ではなおさら、 解を示したが、 れている メディアを通じて国民の支持をつなぎとめ 国連安保理決議も回避して断行したイラク 9・11テロ以 が、ここで改めて整理しておこう。 テロリストグループとの関係や しかも、 来の 「テロとの長 多数の犠 国内世 論をまとめて 牲者を出し 歴拠も示

以上の事態が想定される状況だった。 ウスディア側による強い抗議で当局側による戦後のメディア側による強い抗議で当局側による戦後のメディア側による強い抗議で当局側による戦後のメディア側による強い抗議で当局側による戦後のメディア側による強い抗議で当局によるメディア統制はおおむ

は難しい。
は難しい。
は難しい。
は難しい。
は難しい。
は難しい。
は難しい。
は難しい。
はいは、文字、写真、映像の完全な検閲取り締まりい動画までリアルタイムで送れるようになった時い動画までリアルタイムで送れるようになった。
戦場から通信衛星経由で通話や文字、静止画た。
戦場から通信衛星経由で通話や文字、静止画

影響力を持つ非米英のメディアの登場も大きい。テレビ、アルジャジーラをはじめとする国際的な地報道で、世界中の注目を集めたカタールの衛星アフガン攻撃の際のカブールなどからの独占現

もあった。 いナダのようなメディア封じ込めを困難にしつつ発信するメディアの存在が、フォークランドやグをどから刻々と二十四時間のライブ中継を世界になどから刻々と二十四時間のライブ中継を世界にま英の視点とは異なるアプローチで、敵方の首都

に心情的に同化していく事態も当局の計算に織り に心情的に同化していく事態も当局の計算に織り た状況でもみられるというこの現象が、まして軍 た状況でもみられるというこの現象が、まして軍 に自らの生命の安全と食糧を依存する状態で、何 がしか出てこない方が不思議なくらいではある。 イラク軍・民兵との交戦による敗北は記者、カメ イラク軍・民兵とので戦による敗北は記者、カメ イラク軍・民兵とので戦による敗北は記者、カメ

と記されていた。特に前者の禁止事項からはコソ 由による事前チェック)に付されることがある」 等はセキュリティー・レビュー のインタビューは認めない」「記事、 ー」の考え方が投影されている。 して浮上してきた「ソー ボ戦争後に米軍当局のメディア統制の中心概念と 参加 た従軍取材のグラウンドルールには「オフレコ 決して語らないというもの 除に各記者、 オンレコの、 カメラマンがサインを求めら 記事にして差し支えない - ス段階 (安全保障 従軍取材は認め のセキュリティ 写真、 上の理 映像 話

分かれる評価

埋め込み方式従軍取材の是非をめぐっては、

戦

もが事実上の終結をみた現在も、評価が分か

擁護派の主張は「メディアを戦場から完全に閉め出したり、ごく少数のプール枠しか認めないこといったところが最大公約数的なところだろう。といったところが最大公約数的なところだろう。といったところが最大公約数的なところだろう。しかし、今回、従軍取材を認めた当局の意図、計算などを考慮に入れ、「少なくともメディアに計算などを考慮に入れ、「少なくともメディアに計算などを考慮に入れ、「少なくともメディアに計算などを考慮に入れ、「少なくともメディアに計算などを考慮に入れ、「少なくともメディアに表した。」

事前の予想通りと言うべきか、従軍テレビクルーには"特等席"が与えられることが多いったという。

グ機関となり果てた」(イラク情報省)として途ら、今回は「うそとうわさを振りまくプロパガンら、今回は「うそとうわさを振りまくプロパガンダッドから空爆の様子を放映し続けたCNNですラク当局から衛星回線の独占使用を許可されバグックスニューズは言うまでもなく、湾岸戦争でイックスニューズは言うまでもなく、湾岸戦争でイックスニューズは言うまでもなく、湾岸戦争でイックスニューズは言い気に入りの保守的なフォ

から国外退去令を出されるほどに、

少なくとも

民に伝えるものが多かった。 イラク当局からは"米政権べったり』と見られた。 また、英BBC、開戦に最も強く反対したフランスの新聞、テレビなど欧州メディアは一般に、 キャンプになだれ込む難民など一般市民の側に焦 点を当てた報道が多かったのに対し、米国メディ ア中でも米テレビの報道は従軍取材でとらえた戦 アウでも米テレビの報道は従軍取材でとらえた戦 はに伝えるものが多かった。

理め込み式従軍取材に対する慎重派の警戒は故を与えられたことで十分自足してしまったのか、活動を続けた米メディアの記者、カメラマンらは活動を続けた米メディアの記者、カメラマンらは再のとどまり、大半は軍に好意的な記事、写真、映像を本国および世界に流し続けた。

見えない戦争化への流れ

なきことではないと言えるだろう。

戦使用に踏み切った。

テムを制御するコンピューターに電子的な攻撃を

かけてその機能を一時まひさせるなど、一部で実

気 がする。 行われ方の近未来を考えるとき、 !争でも再び登場してくるのだろうか。 戦争自 、ィアを戦場から遠ざけた措置だけによるも |認められたような従軍取材は今後の米国 その答えはイエスとは言えないような コソボ戦争やアフガン攻撃で〝見えな 車をかけて が進んだのは、 サイバ 一戦争化 空爆のみによる戦い方 の抗し難 少なくとも長 流 れがそ 体 \overline{O}

さなかったという。しかし、 えた。 水道、 で訴追される可能性などを勘案の上、 報じた。 スをも混乱させるため、 国防総省がユーゴ連邦軍の作戦行動に加え電気、 の極秘計 金口座に電子的に侵入し、 ため同大統領のロシア、 ットワークに侵入することを検討していた、と伝 コソ 国防総省は米政権の中枢が国際人道 公共交通などの市民生活に不可欠のサービ ボ ミロシ ワシントン・ポスト紙は同年十一月、 「画をクリントン米大統領が承認した、 ェビッチ政 の九九年五 キプロスなどの銀 当局のコンピューターネ 預金を消滅させるなど ユーゴ軍の防空シス 揺さぶりを 実行には移 -ズウィ 法違反 かけ 行の ح 米 預 Ź

のピー イン策定を命ずる大統領令に署名していたと伝え にらみつつ、 昨年七月の段階でブッシュ大統領が サイバー ンピューターネットワークの中で破壊活動 ピューター 令部では、 た。その半年後の二〇〇〇年四月、 今年二月には、再びワシントン・ポスト紙が、 九九年十月、コロラド州コロラドスプリ - ターソン空軍基地に本部を置く同宇宙軍司 攻撃の態勢づくりの任務を与えられた。 来るべきサイバー戦に備えて軍 ネットワー サイバー 攻撃の連邦規模のガイドラ -ク 防 衛の任務が与えら 今度は敵の イラク戦争を を行う 一のコン ·ングス コ n

> れる。 年ごろ、 のありようは今、 対してはサイバー攻撃は仕掛けられなかったが、 ー攻撃を要とする、 正規軍同士ががっぷり四つに組む陸戦中心の戦 イラクは違う」と関係者の間では囁かれていた。 ンピューター自体ほとんど存在しない 欧州を席巻したナポレオンの軍隊で定式化した 有無はまだ分からない。 イラク 機動力にたけた新しい米軍の再編は二〇二〇 早ければ一五年ごろには完了するとい 、戦争での米軍によるサイ 大きく変わりつつある。 非対称戦争に対応できる、 開戦 アフガンに サイ バ 争

ろう。の度合いはコソボ、アフガンの比ではなくなるだの度合いはコソボ、アフガンの比ではなくなるだ戦争のサイバー化が進めば、『見えない戦争化』

も踏まえた上 テクノロジーの進化に押されての戦 ことはあ 化は中長期的には不可逆的だ。 る近未来像は、 大国の政権中 ティブズ(新保守派)と呼ばれるグループの 今 当局による戦時のメディア統制は強化される П そう長くは続かないとの見通しもある。 [のイラク戦争遂行を主唱したネオコン ても逆はあり得まい。 で、 ・枢の近未来はもちろん不透明だが、 イラク戦争でのわれ 絶えず検証していくべきもので そうした流れの そうした暗澹 われ 争の の経験 仕 方の た 中 変 覇



願 的 思考の米戦 サウジ・テロ事件の示すも

こり、死者二十人、負傷者百九十四人(サウジ内 始まろうとしていた五月十二日深夜 発見された。 人三人(国際協 ス人、レバノン人が各一人だが、負傷者には日 七人、ヨルダン人、フィリピン人が各二人、 務省声明)を出す惨事があった。サウジ内務省の ヤド郊外の外国人居住区で連続自爆テロ事件が 米国 ,明によれば死者の内訳は米国人、 サウジ人が各 同時に自爆テロ犯とみられる九人の焼死体も |主導 中東最大の王国サウジアラビアの首都リ 同じく米主導型の戦後復興計画がまさに の対イラク戦争が 力事業団派遣員)も含まれてい 圧倒的勝利のうち (日本時間十 スイ 本 起

を考えれば、 れたのが、 が伝えたかったメッセージはおのずと明らかで サウジ史上最悪と言われるこのテロ事件 だがイラクの再編は米国式ではなく、 を翌十三日に控えての出来事だったことなど 違ったことをしてきた ールに従わなけ それは イラク戦後のサウジのテロ実行者た 中東歴訪中のパウエル米国務長官の 「サダ ればならない。 、ム・フセインがどんな かはよく分かってい そうでなけ イスラ -が起こ

> 衝突、 徒排斥の国民感情の強い中でのファハド国王の決湾岸戦争は多国籍軍の勝利に終わったが、異教 う湾岸危機が発生した。この際、 年後の九〇年八月、 ラム大寺院襲撃事件の後、 ジ王国の成立はずっと後の一九三二年のこと。 籍軍の常駐を承認したのはファハド国王だった。 代国王に即位した。八七年にはメッカで数千人の 七九年のスンニ派イスラム教徒によるメッカのハ の新サウジ王朝も国王の死去など不祥事が続き、 ッカが聖地とされたのは六三○年だが、 徒によって聖地とされるメッカを擁している。 る中東の大国である。 世界最大の石油 イラン巡礼団が反米デモを行ってサウジ警官隊と サウジ王国は、 四百二人死亡する事件があった。そして三 われは米国と戦う」 埋蔵量を誇り、 アラビア半島の八割を領 イラクのクウェート侵攻に伴 その領土内にはイスラム教 ファハド皇太子が第五 強大な軍備を有す 米軍中心の多国 統 一サウ 有 そ

人六人死亡。 家警備隊訓練施 ▼九五年十一月、 設に爆薬を積んだ車が突入、 米国に貸与していたリヤドの国 米国

に明らかになっていく。

断が、その後のサウジに何をもたらしたかが次第

で爆弾を積んだトラックが爆発、 ▼九六年六月、 これらは二〇〇一年 四百人が負傷。 ダー ・ランの米空軍基地の住宅施 11 に向けてのテロ 米国人十九人死 1攻撃 設

始まりだった。

すべての伏線はサウジにありと

9

首長国連邦 金提供者はサウジと最も密接な関係にあるアラブ また彼が使ったアルカーイダのテロ実行犯十九人 名家の生まれだが、 ビン・ラディンはサウジで建設業を営むイエメン のうち十一人はサウジ出身、 9・11テロ攻撃を受けた後、 のテロの場合も首謀者とされるウサマ (UAE) に住む富豪だっ 教育はすべてサウジで受け、 アルカーイダへの ブッシュ米大統 資

か。 の戦争だった。なぜこんな回り道をしたのだろう スタン・タリバンへの攻撃であり、 ビン・ラディンをかくまっているとみたアフガニ かったのか。 ディンの捜索と逮捕、引き渡しへの協力を迫らな は自衛権を基に報復すると宣言した。それならな 真っ先にサウジアラビアに乗り込みビン・ラ ブッシュ政権が実際に行ったことは 次はイラクと

米ネオコンの思想的限

的な関心自体も薄いのではないかということだ。 側にも賛成してくれるだろうと思うウィシュフ 国民の称 もう一つは何かが起これば手っ取り早く片付け、 国際問題に関する知識に乏しいだけでなく、 るということだ。 ル・シンキング こういう疑問を持った筆者は 結局、 加えて自 |賛を得ておきたいという速効好きの実利 今思うのは米国の現在の指導者たちが 分たちがよいと思っ 領 望的 思考) の持ち主たちであ ろいろ考えた たことは相手 =評論家)

ディア談話室

メ

NYタイムズの「問題

[報、虚報を繰り返]

二年後には地方版の記者として正式採用され、昨ぶ。でインターンとして働き始めたのは五年前。『タイムズ』の編集者がこれをチェックできず、『タイムズ』の編集者がこれをチェックできず、と常習的に記事の盗用や捏造を繰り返しながら、と常習のに記事の盗用や捏造を繰り返しながら、と常習のに記事の盗用や捏造を繰り返しなが、

くるものとみられ、

人の記者の引き起こした不

虚報の事例

が出て

昨年十月以前の、

約六百件の記事にさかのぼ

べればさらに多くの誤報、

年春には全国版の記者へと異例の速さで昇進し 年春には全国版の記者へと異例の速さで昇進し 年春には全国版の記者へと異例の速さで昇進し 年春には全国版の記者へと異例の速さで昇進し 年春には全国版の記者へと異例の速さで昇進し 年春には全国版の記者へと異例の速さで昇進し

事実なども克明に指摘されている。 本くとも三十六件について「新しい問題」が浮かなくとも三十六件について「新しい問題」が浮かなくとも三十六件について「新しい問題」が浮かび上がったという。十一日の紙面には、これまでの調査結果と「問題」の記事の内容が四等にわたの調査結果と「問題」の記事の内容が四等にわたの調査結果と「問題」の記事の内容が四等にわたの調査は、 が別かれている。その中には、事実関係の間違いや捏造の事実のほか、実際には足を運んでいない。

> なることが予想される。 祥事としては、これまで例を見ない規模のものに

見過ごされた予

藤

 \mathbf{H}

博

司

間がかかったのか、という点だ。『問題』が明るみに出るまでになぜ、これほど時腑に落ちないことが一つある。この若い記者の腑。となるない。とが一つある。この若い記者のいる。とうしても、『タイムズ』の調査報告を読んで、どうしても

そうしたことから、既に昨年春の段階で、デスには際立って訂正の数が多かったらしい。取材先には際立って訂正の数が多かったらしい。取材先には際立って訂正の数が多かったらしい。取材先には下が相当ずさんな記者だったようで、彼の記事でしたことも頻繁にあったという。事実関係の確認や表現のでしたことから、既に昨年春の段階で、デストリしたことから、既に昨年春の段階で、デストリしたことから、既に昨年春の段階で、デストリしたことから、既に昨年春の段階で、デストリしたことから、既に昨年春の段階で、デストリした。

国ンの欠如」をその理由に挙げている。しかしそれなのに「問題」は見過ごされて何も措置が それなのに「問題」は見過ごされて何も措置が とられず、逆にごく短期間のうちに全国版担当へ とられず、逆にごく短期間のうちに全国版担当へ とられず、逆にごく短期間のうちに全国版担当へ といれず、逆にごく短期間のうちに全国版担当へ といれず、逆にごく短期間のうちに全国版担当へ のことであっただけに、首をかしげたくなる。 『タイムズ』のハウエル・レインズ編集主幹は 『タイムズ』のハウエル・レインで編集主幹は 『タイムズ』のハウエル・レインで編集主幹は 『タイムズ』のハウエル・レインで編集を書かせるのを直

れても、 者として好ましい資質を備えていたようだし、 司のうけ だけで説明するのは難しい。 はできそうにない。 強 がよく」「どこにでも この記者の もよかったようだ。 「烈な野心」を持った青年だという。 「問題」 ただそれを考慮に入 が見過ごされてきた 顔を出し」「頑張 ブレア記者は 一人 上 記 ŋ

人に甘い扱い?

ている。 甘さにつながったのではないか、という点だ。 が ジャーナリズムの世界では、 たとしてもおかしくはない。 集局の人種的な多様性を高めることが求められ ゆる「少数派優遇措置」が、 かわりを暗に指摘している。 やコラムは、 めていない。 タイムズ』 %低い。 『タイムズ』の幹部にそうした意識が 有能な少数民族出身者の進出を促し、 この青年が黒人であったこととの はブレア記者を特別扱いしたとは ただこの問題を報じた幾つかの論 いまだに黒人の比 新聞社におけるい 彼に対する扱い あ 0)

素が絡んでいたとなれば、 イムズ』が正面切ってそうと認めることはあるま 「人種」 仮に今回のブレア記者の扱いに「人種」の要 であ は米国社会では微妙な問題だけに、『タ る白人との間に無用 らを傷つけることになるだろう。 の人たちも同じ扱いを受けているとみ 現にジャーナリズムで 心理的な壁を築 また

くことにもなりかねな

欠如」 ことはできそうにない。 に思われる。 祥事の原因として挙げる「コミュニケーションの 通が十分ではなかったことを暗に認めているよう 種」を全く抜きにして今回の「問題」を説明する かし建前は別として、 は、 そうした部分の理解を含めた意思の疎 『タイムズ』が表向き不 本音のレベルでは 人

の時も、 もかかわらず、デスクが彼女の言い分を十分に検 若い、野心いっぱいの黒人の女性記者だった。こ ムの歴史に残る大失態につながった。 証しないまま原稿を通したことが、ジャーナリズ のピュリツァー賞をとったジャネット・クックも 「ジミーの世界」をでっち上げて一九八一年度 その記事の内容に疑問がもたれていたに

失われた信用

されていたことだ。 用しての偽装工作にデスクや同僚がまんまとだま うに装っていたことだ。 勝手に事実をでっち上げたりといったことのほ に、実際に行ってもいない現場で取材したかのよ 新しい側面がある。 ブレ ア記者が引き起こした「 他紙の記事を盗用したり、 携帯電話やパソコンを利 「問題」にはもう一 か

つ

筆する。 ンを通して資料を集め、 三地の取材対象に携帯電話で取材 本社への連絡や送稿も携帯とパソコンを ニューヨークで原稿を執 パ 、ソコ

> 思い知らされる。 ずに記事を書ける取 クも掌握できない、 本社を欺いていた。 通して行うから、 あたかも現場から送稿したかのように 実際に記者がどこにいるかデス ブレア記者はそんな手口で原 通 材環境が生まれていることを 信技術の進化で現場を踏 ま

傷つけたと言っていいだろう。 載し続けたことは、『タイムズ』の信用だけでな る新聞だ。その『タイムズ』が、 を標語に掲げ、歴史を「記録」することを自負す 改めて思う。 一人の記者の誤報、虚報を見抜けず、 それにしても「『タイム 米国のジャーナリズムに対する信頼も著しく 「印刷に値するすべてのニュース」 ズ ţ 長期にわたって お 繰り返し掲 前 Ł かしと

とがある。その姿勢に変化の兆しは、 ないとの理由で評議会への参加、 備えているのかどうか疑わしい。 を設け、 とき、『タイムズ』は外部からの圧力を受けたく て一九七〇年代に米国で報道評議会が設立され ムズ』も、 い。しかし今回の事件を見ると、 『タイムズ』は社外の人材も招いて調査委員 将来の対応を検討する方針という。 自力で問題に対処できる能力を十分に 協力を拒んだこ 誇り高い その後もな **『タイ** か

みを注視したい 自律的にどう対処しようとするの すもう一つの "タイムズ』を含めて米国 この事件は、 兆しと言えるだろう。この事態に 米国のジャーナリズム のジャーナリズム か、 上智大学教授 その取り組 の衰退 を示

プレス !!!! !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!! ク 非 人 ラ 道 ス 性 タ ح 日 I 本 爆 の 弾 ഗ

開されていた二月八日、 た。イラク攻撃をめぐり国連安保理で激論が展 から進めてきた地雷約百万個 対 人地 本の良心を鮮明にしたことを評価 旭町で行われた最終処理式で、世界に先駆 電禁止 条約に 基づい 小泉首相出席のもと滋賀 て、 の廃棄処理 日 本 したい。 が 九 が終了 九 け 九

常兵器削減 悲願達成はさらに厳しい国際情勢だが、 どの大量保有国 道』はなお険しい。 |が締約しているもの 縮外交の柱」 九年三月発効した対人地雷禁止条約は 規制への努力は続けなけ 一が加盟していないため 一となるもので、 世界の核軍縮・ Ó, 米国、ロシア、中国 現在百三十一カ 核不拡散の ればならな ″地雷廃絶 せめて通 日 な 本

防衛庁「第二の地雷」購入

だったイラクの大量破壊兵器は 深刻な国 連安保理でのフランス、 際的 が切っ 不安要因を残した。 壊兵器査察継続の主張を拒 た結果は、 ドイツ、 米国 いまだに発見さ 当初 一の勝 ロシアなど の戦争目 利の 否して 陰

> つ。 をばらまく兵器で、広範囲、 ラスター爆弾は、親爆弾から二百個以上の子爆弾 たちの惨状が頻繁に報道されている。 たず、戦争が終わった後でも、手足を失った子供の被弾でなく、不発弾による民衆の犠牲は後を絶 るため、 が野放しにされている現状は憂慮に堪えない。ク イラク民 実態をさらけ しかも、 クラスター 「第二の地雷」と恐れられている。直接 かり 子爆弾の二割から三割が不発弾とな 生物兵器」 性になっ 出した。 (収束) 人道兵器使用によって多数 大量破壞 爆弾など大量殺戮兵器 と一般に定義されてい 無差別の殺傷力を持 ″無謀な戦

爆弾を、 廃絶」 のかー 驚くべきことだが、 と、一九九〇年当時の単価は約一万四千元 衝撃を受けた人は多いだろう。 るとの報道にがくぜんとさせられた。 十六年間で百四十八億円分も購入し、 七十万円)で空自の保有数は数千個と推計される まさに「第二の地雷」である。そのクラスター 予算書に 一部の防衛関係者以外は知る由もなか 報道 の先頭を切った日本政府の姿勢は何だった 航空自衛隊が一九八七一二〇〇二年度の 「毎日」四月十七日朝刊のスクープに、 しない姿勢も不可解 「弾薬」と一括計上されていたた 朝日十七日夕刊以外の他紙 同紙の報道 保有してい 「対人地雷 っった。 による (約百 が

いないはずがなく、指摘されるまで黙っている「クラスター爆弾の非人道性を防衛庁が認識し

て

ので、 廃絶した日本が「第二の地雷」を保有する矛盾 破茂防衛庁長官は、「 武力攻撃事態への対処に関する特別委員会」で石 て、 明らかで、 用は想定していない」と苦しい答弁。 日 なった」と、 全く機能 も答弁すべきではなかったか。 しない。 って多くの はお 4・18朝刊) 今後の対応(廃棄を含め)を考えたい」とで 他国住民を非人道的に殺傷する目的での 国会には予算委のほか決算委もあるの していないことも今回のことで明らかに の処理を率先して行っ 「クラスター爆弾購入の経緯を精査 前田哲男東京国際大教授が指摘 戦闘員に被害を与えて する通りだ。 不発弾は最大三割 「敵が侵攻した場合に使うも 四月十八日の たのに、 [あり、 対人地 首尾一 「衆院 電を 本は 毎 貫 使 に

を徹底的に糾弾しなければならない。の大量使用は許せない。報道機関は「この無法」の大量使用は許せない。報道機関は「この無法」で渉が三月から始まっていたのに、イラク戦争でー爆弾を「非人道兵器」として規制しようとする米国も加盟する特定通常兵器条約で、クラスタ

毎日カメラマンの爆発事件

アリ 件を引き起こしたことに衝撃が走っ た手荷物 者個人の資質と各報道 (現地時 この点で、 ŕ 争報道」 国 際空港。 から爆破物が発見され、 間) は、 毎日 (ヨルダン・アンマンのクイー 戦場の危険ばかりでなく、 国 新聞カメラマンが所持してい |途中のカメラマンの軽率な 一機関総体の姿勢が問 点検中に死傷事 五月一 われ 日

'日新聞は五月十日

朝刊で二ペ

ージ全面

を割

13

・アンマン空港爆発事件」と題する詳細

爆発はしない」と思い込んで記念に持ち帰ろうと ろうか。 散乱していた釣鐘型の物体を拾い、 たという。 あまりにも軽率だった。 | 行為の罪は重大である。 解放された気の緩みとはいえ、 た、危険物?』との認識がなかっ 従軍カメラマンとして戦 惨事を招 石ころを拾うような気分だったのだ いてしまっ イラク国内の道端に た。 戦 後も道路脇に放 常軌を逸した 「使用済みで 争取材の緊張 たこと

材につながったと推察でき、 たはず。 爆弾なら、その爆破物自体のニュース性は高かっていたもので、「第二の地雷」の危険性を持つ子 こと。当初、 爆発物はクラスター・子爆弾の可能性 '謝罪と原因究明に当たったが、 訓として危機管理態勢の整備、 毎日新聞社は、 ″特ダネ″を生んだとも考えられるのである。 3 「べきである。 ルダン当局その後の分析によると、 っながったと推察でき、爆発事件とは全く逆クラスター爆弾の危険な正体を告発する取り。それだけに、カメラマンの着眼点がよけ 断面』との認識を持ち、 日本の軍事専門家も判断を下しかね 社長ら幹部がヨルダンに急行し 報道機関全体への 記者教育拡充に ″異常な戦争報 が濃いとの 釣 2鐘型の

で、 部を引用させていただく。

ぎ得たチェック関門だったはずなのに。 を通れると思ってしまう心理 う心理、 の『落とし穴』は、 し穴』にはまってしまったのはなぜか。 常になってしまうものだ。 『記念品』 (次元空間 平 ・穏な日常では それを持ち歩き仲間に見せる心理 にしたくなる心理、 では、 裏返してみれば、 想像の困 人間 爆発物の残 の感覚や判 難な戦場という セキュリティー 一数々の 事件を防 - 断力が異 (がいを拾 それら 『落と

取りのマニュアルを作れというのではない。取うとする発想が欠けていたと言える。手取り足まで外国のジャーナリストたちの経験から学ぼ ということだ。 対する基本的なハンドブックが必要ではない 材活動の根本的な心得、 取材のあり方について、 ……戦争、ゲリラ活動地域、テロなどの 『異次元空間』における予想もしない事態に 何が起こるかわから 日本のメディアはこれ 現 か な 地

なるだろう」 公表が前提となる。 面化すること。 そこから得られる教訓をわが身の問題として内 かわる文化的風土を変革する強力な刺 ……報道人はたとえ他社 日 本の政治、 当然、 このような対応が定着した 政、 失敗の調査・分析結果の 企業などの情報 0 失敗であっても、 激剤に 公開に

日本独自の軍縮政策を貫け

、ラスター爆弾に関連する二つの主題を考察し

特に説得力に富み、

参考にすべき問題点が多い

0)

かれた新聞委員

会」委員)

提起した

文は 毎

た。

この

中で、

柳 が

田

邦男氏

Ħ

り、 る。 は、 「パワーゲーム」に突入したような様相を深 新型兵器の脅威 を依然批准せず ッシュ政権はCTBT(包括的核実験禁止 方針を打ち出したものの、 いる。米国は二〇〇二年初め、 核兵器開発 の市民の多くは「大国が率先して軍縮の音頭 戦争を回避すべきだ」 地中深くにある標的を破壊するための新たな 劣化ウラン弾、 世紀に入ってからの世界は、 ・製造の可能性も示唆されている。ブ も見逃すわけには "死文化"を狙っていると勘繰 バ ンカーバ と願 戦術核兵器について 戦略核兵器削減 っている。 ス かな g 新たな 条約) しか めて を取

出を行っていない国として、 ながら、クラスター爆弾保有の矛盾が今回明ら 力を続けている。非核三原則を国是とし、 になった。 待したいところだ。 日 対人地雷禁止条約など小型武器規制に外交努 「本はCTBTをはじめNPT(核拡散 化学兵器禁止条約、 だが、 生物兵器禁止条約を批 - 地雷廃絶」を達成 独自の軍縮外交を期 防 正

外交路線 を物語っているのではないだろうか。 た政策判断もおかしい。 ス艦のインド洋での給油を十一月一日 中東の戦火が一応終息したのに、 政府内に統一され 0 確立こそ急務であろう。 た安全保障政策のないこと 米国の外交圧 自衛隊 まで延長 日 力で揺れ 本独自 イージ 動

他田 龍夫=ジャー ・ナリスト)

放送時評

急成長のFOXグループ多難な地上デジタル普及

ベント頼みの普及目標

はそれぞれ名古屋市、 十二万世帯に限定して始まる。 波数変更対策の影響で放送区域は段階的に広 て十二月一日から本放送を開始する。アナログ周 送」の予備免許を交付した。 方世帯でスタート。 「域圏の民放テレビ十六社に「地上デジタル放 関東でNHK総合が一都四県の各 全域カバーは三年後、 務省は四月十八日、 NHK教育、 大阪市の全域を当初からカ NHKと東・ 二〇〇五年末ごろにな 各局は試験放送を経 中京圏、 民放六局は約 名 一部六百 近畿圏で 阪 一大 亢 が

時代における放送の将来像に関する懇談会」(座 書いたが、 デジタル化完了という手順についてはこれまでも ○六年末の他 山 喜久関西 四月十五日に総務省「ブロード を指標として示した。 計 要点を紹介する。 地域での放送開 電力会長) をまとめ、 の最終報告書は、 より具 目 始 |標の普及世帯数 行政の旗印とさ 一一年七月の 体的で詳し -バンド

と受信機台数が併記された点が目新しい

台の普及。

□ 世界である2011年七月二十四日までに一億帯・四千八百万世帯への普及。アナログ放送の停帯・四千八百万世帯への普及。アナログ放送の停場を設置標=2011年初頭までに全世

年初頭までに全加入世帯(予測・二千三百万世杯ドイツ大会の時点で、一千万世帯・千二百万台の普及②2008年の北京五輪の時点で、二千四百万世帯・三千六百万台の普及。

七百五十万世帯。北京五輪の時点では全国の千時点で千百万世帯。北京五輪の時点では全国の千場)において視聴可能、2004年当初は三大広帯)において視聴可能、2004年当初は三大広帯)において視聴可能、2004年当初は三大広

機、車載受信機は除かれている。 さすがに来年のアテネ五輪は入っていないが、 さすがに来年のアテネ五輪は入っていないが、 さすがに来年のアテネ五輪は入っていないが、

な顔になります」などと宣伝されても、視聴者大員』となったテレビが、さらに美しく便利で利口っと七年半で普及させられるのか。「*家族の一年間の受信機総需要一億台に匹敵する台数を、ざテレビ開始五十年。この積み上げにより過去十

惑通りに 円」とはじいた。だが以後、 業まで合わせた経済波及効 CSデジタル不熟。景気のい ンは宙に浮いたままである。 走り 出すかどうか。 そうですか」と政府やメ 果を「約一 BSデジタル不振、 役所はかつて関連 いこんなデスクプラ 1 一百十二兆 カー 0 産

これとて遅きに失した感は否めない。整事業の共同実施」が目的の公益法人となるが、デジタル放送の円滑かつ迅速な移行・普及」「基ーカー三者の協力で七月にも設立される。「地上ーガー三者の協力で七月にも設立される。「地上を援のための総合的機関がNHK、民放連、メ

低過ぎる一般の認知度

じている側面をこれはうかがわせる。
となり、「今後三千日ほどで一億台のテレビが買となり、「今後三千日ほどで一億台のテレビが買となり、「今後三千日ほどで一億台のテレビが買となり、「今後三千日ほどで一億台のテレビが買と放送事業者は運命共同体」とまで言い「総務省と放送事業者は運命共同体」とまで言い「「大山虎之助総務相は予備免許交付に当たり、

%にとどまり、 とは当面考えていない」と答えた。 また放送局百二 たいと思う」人は三四%、 地上波デジタルについて ケートで、 (回答千三百五十人) NHK放送文化研究所が二月、 % が 「聞いたことがある」三七%。 「多チャンネルに取り組むこ に行った意識調査によると、 (回答百十六社) 「知っている人」は一八 「思わない人」 視聴者二千 予備免許交付 へのアン

く大方の民放

とにかく

ķ

ル は

幾

及重にも

В

Cを視聴率で抜き、

三大ネット

0

角

で崩

ことは、

幸 本で『日

いだったかもしれない。

0

人が目

に就任する。

とどまるところを知らない

本版ディレクTV〟

による周 (放地方局の慎重さは 知 がは進 むにしても、 明ら かである 般 の認 知 度

しさが浮き彫りにされ 進 任 しなお甲論乙駁。 直 がここにきてなお高い点 関連シンポジウムが多くの参会者を集め、 |が私の仕事| と語っ 後 放連・日枝久新会長 「もはや待ったなしの状態、 視聴者不在の『国策』を責める (フジテレビ会長) NHK文研ほか幾つか 大構造改革の デジタル化推 しか は 難 就

のボーナス商戦での先手必勝を賭けた。そして日入者に十月以降受信ソフトを送るということで夏に比べてかなり高い。十二月の本放送に備え、購 イド二十万円弱、 で実売価格約三十万円という。 製作 、発売」を発表したのが初名乗りである。 受信機はまだゼロ。 「お手並み拝見。 所は「十二月の放送開始までに」、 BSデジタルの二十七万円程度 うちは来年から」。 東芝が四月二十 同型のアナログワ <u>:</u> 日 36 *少 型 に 菱 六 電

をにらむ業界の空気を集約する。一 デジタルの不振が 物家電伸び悩みの中で決定的に熱いのだが、 この温度差は、 い替えという ンネル化は視聴者の分散」 相克によるものである以上、 ト時点で鮮明な見通しが持てないの *特需』に注ぐ視線は、 地上デジタルテレビ今後の展 「高コスト」「番組のつまらな 度、 高価 な大型受信 と番組 地上デジタル 億台のテレビ 作りに腰 いまの B S いも当 を 白 開

高 0 であ

0

際立つ政権寄り

声が出ている。 利したからである。 るほど、 が、「"陰の勝利者』はFOXグルー 「アメリカで、 イラク戦争が終わって、 政府寄りのこのグルー ジャーナリ 比 ゆ的な論議の一つには違 ズムは死んだ」という マスコミ界の プが プ」と言われ 道合戦で勝 ついない 部 には

B S しては 像引き倒しのシー 援団〟に仕立てた」とされる。 戦いを熱く賛美して「流すのはニュースでなくて た。 の人たちは喜んだことでしょう」とコメントした 楽路線でブルーカラー層を取り込み、 徹底的に批判し、 まで言われた。。米政権のチアリーダー』と皮肉 オピニオン」(米メディア監視団体下 日平均四百四十万人はCNNを七十万人上回っ Nニュース」を抜き去った。 一 られても意に介せず、 ス」は開戦後あっという間に、 動きが鈍くて、 24時間ニュース専門ケーブル 地上波のFOXテレビも同じこと。 にまで急成 愛国心をあおり、 ABC三大ネットワークに並ぶ 「テレビに娯楽だけを求める層を 長しているのだが、この戦争に関 古 ・ンを 戦後の復興・再建についても い国連」とこき下ろす始末。 戦争に反対したフランスを かき立て、 「これ を見てブッ そして、 週間 ライバル局 局 一貫して米軍の F O X の視聴者数一 N B C 際立った娯 A I R と ″四大ネッ シュ フセイン ″米国応 ニュ C N 政権 С

> 寄りの ろう。 めている、 そういう印象が土壇 以府方針· ナリズムを圧倒 これを見てケーブル局も地上波局 発言をしそうなキャスター と共同電は伝える との車の 場で露呈するお国 両 するあざとさは 輪。 コ 7 (四・二九新聞協 1 シャ 0 獲得に動き始 IJ ぶりなの ズ 権 だ

フォッ 代にコーポレーションの傘下に入り、 線のテレビ。 記したようにCNNと肩を並べた。 はケーブル局「FOXニュース」 「メディア商人」とも呼ば 星放送最大手のディレクTVの親会社ヒュ 結果的に ″FOX効果』 は否定しようも \mathcal{O} 7 のFOXテレビが三大ネットワークに追い る。一九一五年にハンガリー出身 ック氏率いる豪ニュ ∵七○%を超える支持率に貢献したニュース局。 ニューズ・ FOXグルー 「四大ネット」にまで急成長。 クスが設立した映画会社がルー 功したと発表 コーポ 政権寄りそのものでブッ プは ーズ・コーポ レーションは四月八日、 世 した。 界 れるル 0 マードッ メディ パー が創設され、前 そして九六年に レー \dot{O} ウィリ エ ア王」とも まず シュ _ _ . ショ ト・マー ク氏は会長 Ÿ. ーズの 一大統領 グロ すが 八〇年 アム 地上波 米衛 路 つ

大森 幸男 放 :論家)

の違い

に原因があったと思う。

その思惑

法律策定を進めた人たち

表現の自由との調整で混乱の原因となった。

政府関係者の言葉は、

その事情を端的に表

方、

致して旧法案に反対した報道

部政男座長)が法律策定に向けて検討を始めてか

進本部に置かれた「個人情報保護検討部会」(堀

スコミ規制対 八情報保護法成立の制対応で教訓も

が悪かったのかもしれない」と苦笑いした。 か定かでない口調で「個人情報保護法という名前 になったころ、 成十一年七月に、 年十一月、 旧個人情報保護法案の廃案が決定 政府のある関係者は本音か冗談 政府の高度情報通信社会推

こうした紆余曲折は、法律策定を進めたを通過した。五月中にも成立の見通しだ。 未了でいったん廃案の憂き目に。 規制する」などと批判を浴び、 された個人情報保護法案は「表現の自由を不当に をした上で今国会に再び提出し、 にあった五つの基本原則を削除するなど「表現 するため」(小泉首相の国会説明) 大幅な修正 由と個人情報保護の両立を図る趣旨を一層明 間もなく丸四年。 平成十三年三月に国会に提出 昨年十二月に審議 五月初めに衆院 政府は、 旧法案 確 0

る社会的立場を思 ならないことも少なくなかったように思う。 V 知らされ、 教訓にしなけれ

ば

(共同通信社法務部長)

高度情報化社会への対応

が拡大した。 勝手に利用されているのではないか」という不安 った自らの個人情報について「知らないところで コンピューターに蓄積され、 かつてはさほど重大な関心をもたれていなか 報通 信技術の発達により、 処理も容易になっ 大量の個人情報 が

検討 等推進のための環境整備として個人情報保護法の た基本方針」を策定したが、 信社会推進本部が の原則を定め、 経済協力開発機構 報が流れることを心配するようになる。このため は、個人情報保護が不十分な国の企業に自 わが国でも平成十年十一月、 国境を越えた企業の合併や提携が増え、 がうたわれ 加盟各国に法整備を求めた。 「高度情報通信社会推進に向 OECD) その中で電子商取引 政府の高度情報 個人情報保 消費者 1分の情 け 通 護

たまたま、 上」という名目で、 この時期に 各自治体間 「国民への行政サービス の住民基本台

関にとっても、

この四年間

自らの置かれてい

個人情報保護法と行政個人情報保護法の同 ライン化されるまでに行政機関の個人情報保護法 基本台帳法が改正された。 法のオンライン化が検討され、 の方針は、こうした流れの中で生まれ 政個人情報保護法) の策定が必要になっ 実際に自 平 成· 十一 治体間 年に にがオン た。

情報の保護にあっことが分かる。 急課題は、コンピューターのデータベースなど、 大量に蓄積され、容易に検索して利用 これらの事情だけを考えれば、 政府の当 面

プライバシー保護を求めた

く。 政機関、 おり、 といった、 ドセルなど学用品の案内がダイレクトメールで届 含んでいた。 た」という問題も含んでいた。「センシティブ情 事故の被害者である自分の名前が勝手に掲載され はそうした分野に収まらず、 や家族の個人情報が筒抜けになっているのでは らも個人情報保護の立法化を求める声が上がって いか。こうした不安を背景に、 の収集の禁止」「自己情報 規制の第一のターゲットは政府、 しかし、 成人式の前には、振り袖の広告が入る。自 ・供が小学校に入学する年になると、 学者の間で法律による規制が論議され 金融、 個々の 消費者団体等の求める個人情報保護 個人情報保護は、 医療、 個人情報に関する流通 百貨店等であったと思われ 例えば のコ 消費者団体などか プライ ント 自治体等の行 「新聞に事件 机やラン の規 ル 分

意味合いを強めてい

を訴えていた えたのは当然だったと思う。 た消費者団体の代表や学者が、 個人情報保護検討部会」のメンバーに選ば 「個人情報保護法」をつくろうと考 自分たち が必要性 n

まる報道批判

関に対する社会の批判は厳しかった。国会でも取染、脳死移植の報道の記憶がまだ新しく、報道機 権保護法」 極的な改革を望む」とする一方で、法的措置の検 討会」は報告書をまとめ「(マスコミ) 自らの積月に自民党の「報道と人権等の在り方に関する検 尾をひいており、 り上げられたテレビ朝日のいわゆる「椿発言」も 討を掲げ、 する規制が真剣に討議されていた。平成十一年八 この時期は、 歌山 的な法的整備を推進する必要があると 「プライバシー保護法」あるいは「人 カレー事件や所沢ダイオキシン汚 自民党の中では、報道機関に対 松本サリン事件や東電〇 Ľ

していることが分かったのも、 に関する中間取りまとめ」に「人権侵害類 人権擁護法案の基になる「人権救済制度の在り方 機関に自主規制を求めた。 大会で「人権と報道」をテーマに取り上 「差別」「虐待」「公権力による人権侵害」と 「メディアによる人権侵害」を入れようと 日 弁連は同年十 月の第四十二回人権擁 人権擁護推進審議会が 同年十月の初めだ げ、 愛と 報道 護

はまさにそうした時期で、 「個人情報保護検討部会」 個人情報保護法策定開 の議論が始まった

0

ろという要請があって、 タベースに限った法案を考えていたが、 始は報道規制が必要だと考えていた政治家にとっ て渡りに船だった。 た」と述懐している。 民団体など各方面から、 旧法案について政府関係者は こんな法案になってしま いろいろな要素を加え いたが、政治家やは「大量の個人デー

基本はプライバシー保護法

「日本も同様の原則を掲げるべきだ」と主張した げられた個人データに関する八原則もあったから 係者は少なかったのではないか。報道機関も、 報道機関もあった。 あると考えていたし、 ータベースに蓄積された個人情報の保護は必要で した紆余曲折をたどるであろうと予測した報道関 平成十一年七月以前に、 OECDの理事会勧告に掲 個人情報保護法がこう デ

が違ってくる。 人データの扱いに関する基本原則では、 人データの扱いに関する基本原則と、一 しかし、データベース等に蓄積された大量の個 般的な個 全く意味

する。 代でもあってはならないことである かかることは、 個人情報は市民の日常会話の中でたびたび登場 個人と個人の私的な会話に何らかの制限が 例えコンピューター が発達した現 (万 が 一私的

> は、 な会話によって誰かが 被害を受け

することになっていた。法案策定者にその意図 制限」「適正な方法による取得」「正確性の確保」 理的には私的会話まで規制することになる。 なかったとしても、また理念規定だとはいえ、 人を識別することができるもの」と幅広く定 「安全保護措置」「透明性の確保」 し、すべての個人情報について「利用目的による ところが、 旧法案は 「個人情報」 一の五原則を適 を 「特定の が 用

保護法の意味がある」と率直に発言している。 タベース等を構成する個人情報」となっている。 は雑誌の対談で「基本原則の部分はプライ 情報」まで対象を広げてしまったとも言える。 象となる「個人データ」の定義は「個人情報デー 個人データ」だったのに、 当初、 個人情報保護法の策定にかかわった学者の一人 方、 法案で個人情報取扱業者の義務規定の 行政側が緊急に必要とした保護対象は 基本原則では バシー 個 人 対

くりと時間をかけて検討しなければならない。 だというわけではない。しかし、プライバシー の発想で取り扱われてはならない。 量に蓄積された個人データベースの管理と同 護は表現の自由などの権利と調整が微妙で、じっ プライバシー保護に関する法律の検討が不必要 大 保

シー保護法を求める声、 しかし、 ECD八原則の存在 政治家の思惑、 犯罪報道等報道 消費者団 こうい いプライ への 批

案に入ったとみられる。ま、幅広い「個人情報」についての基本原則が法が重なって、表現の自由との十分な調整がないま

報道機関の困じ

から。 権・個人情報問題検討会」を設置、 協会の見解をまとめるため、 をめぐる人権擁護推進審議会のヒアリング対応を 報道機関が思い始めたのは平成十一年夏になって どが規制を受けることなどあり得ないと考えた。 できることによって、 てデータベースの個人情報保護法が必要であるこ 報道に深刻な影響が出かねない法案になる、 ほ 回会合が開かれた。 とんどの報道機関は、 日本新聞協会編集委員会は、人権擁護法案 策定作業が進んでいる二法案に対する新聞 行われていた市民の情報交換や報道な なかったと思う。 データベースがなかった時 高度情報化社会を迎 下部機関として「人 しかし、この法律が 十一月四日に ح Ž

あることを実感した。 っていたのではないか、 動について読者に説明し、 この検討会は、 !を支援してくれると考えていた読者が離れつつ |機関から参加したメンバーたちは、本来報道機 の有識者を招き懇談したが、その過程で各報 両法案と報道 報道機関は、 と反省した。 理解を求める努力を怠 の自 自 由 分たちの活 をめぐって

関の認識の甘さ、対応の遅さなど、反省すべき点下スクラムに対する新聞協会の指針が生まれた。個人情報保護法の策定作業に関しては、報道機個人情報問題検討会の議論にあっまが、人権・個人情報問題検討会の議論にあっまが

基本原則削除は現実的な対応

であろうか。 護関連五法案について、現時点でどう考えるべき 今国会で成立の見通しとなっている個人情報保

の自由 的な個人情報保護法に入れるとすれば再び、表現 護法については検討の余地もあると思うが、 ティブ情報の収集禁止」 域で既に実施されてしまっており、 とは考えられない。 が主張する「自己情報コントロール 情報保護法の制定が急がれている。 住民基本台帳 との調整が必要となり、 のネットワーク化は、 しは、 行政機関個人情報保 簡単に結論が出る 消費者団体等 行政機関個人 権」「センシ 大部分の 包括 地

·回の法案は、とりあえず「個人データベース

委員会をはじめ、

平成十三年にかけて主だっ

成十二年十月の、

毎 日

新

聞

0

開

かれた新

たのではないか。
は、新法案で「個人情報の適正な取り扱いが図らは、新法案で「個人情報の適正な取り扱いが図ら実的な対応だったのだろう。ただし、その意味で実的な対応だったのだろう。ただし、その意味で

必要になろう。
いまいで、主務大臣の恣意が入り込む余地がある」という不安を解消するために政府側が入れたものという不安を解消するために政府側が入れたものをある。しかし、その定義の仕方は今後、検証がある」という言葉はあい義は、マスコミ側の「報道機関」という言葉の定

だ。業界ごとの個別法が必要になる。管理が求められる業界については規定が中途半端関、名簿業者、医療機関等特に個人情報の厳重な関、を消費者に適用される包括法であるため、金融機関等者に適用される包括法であるため、金融機

のると思う。 では、今後、プライバシー保護法の制定を求 集禁止」などを法律で規定するべきだと考えるグ 集禁止」などを法律で規定するべきだと考えるグ は情報保護法の強化が求められるだろう。「自 のと思う。

いね」と慰め合ったと聞いている。 だ与党の担当者同士が「残念だ。しかし仕方がな党三党で決めたところ、この問題に取り組んでい府案を廃案にし、基本原則を落とした新法案を与府案を廃案にし、基本原則を落とした新法案を与



墺 最 大紙 支配 背景に独巨大資本の進 権めぐり 抗 出

行きを報道する状況になっている。 ン」の支配者エリッヒ・シューマンとの間で、激ドイツの巨大新聞グループ「WAZコンツェル ス・ディヒャントと、 ェアを持つ、タブロイドより小型の街頭売り大衆 しい抗争が続いており、 ン・ツァイトゥング』の支配権をめぐって、 この新聞は、 の四三・四%が読んでいるという飛び抜けたシ オ になる創立者で五〇%の株を所有するハン ス ヘトリ ア最大の新聞 オーストリアで十四歳を超える人 残る五〇%の株を所有する 3 ロッパの新聞 『ノイエ・クロ が成り 八十 1 ネ

と呼んでいる。 で、 ディヒャントは愛情を込めて「クローネ」

月、クローネの発行人で編集長でもあるディヒャ ! 「クローネ・ブント」の編集長を務める息子ク に就任すると通告した。 ヒャントは、 は編集陣に対し、 争の動きは二年前 (陣からの反対はなかったが、 将来の編集長にしたいと紹介した。 その 二月一 法律家でクローネの週末付 から始まっ 日からクリストフが新編 今年一月 ディヒャント た。この年の六 行中旬になって W ·A Z が は $\overline{\mathbf{w}}$

> るつもり ビューで「クローネの政治的独立と、 有者からの編集の独立を図る」と強調した。 A Z と の った。息子のクリストフも雑誌のインタ 対立に直面するだろうが、 私 には息子を後継者にする権 冷静に対処 ドイツの 三利があ 所 す

人物、 う書面で要求した。理由は、 ストフ・ディヒャントを編集長の職から降ろすよ ンス・ディヒャントの弁護士に対し、息子のクリ 全く不適格と書いた。またWAZ側の弁護士がハ ゥング』の紙上で、クリストフは編集長の仕事に ことができない、というものである。 て行動するという、 これに対しWAZ側は、 ストドイッチェ・アルゲマイネ・ツァイト すなわち彼の父親の利益や願望から独立し 編集長としての役割を果たす グループの クリストフが一人の 旗艦であ 3

編集長に指名し、さらにディヒャントによって以 して、 ゴンをWAZコンツェルンのウィー 前に解任された元編集長のフリートリッヒ・ドラ WAZはさらにクリストフの編集長就任に対抗 自陣営のミヒャエル・クーンを事務担当の ン駐在代表に

任命した。

二〇〇一年にディヒャントと対立して退任した。 ディヒャント たりクローネの事務担当編集長を務めてきたが、 ドラゴンは一 返し批判してきた。 クリストフは -路線の忠実な継承者で、三十年にわ 九 五. 九年のクロー 編集長として能力に欠けると -ネの 創刊以 来、

ドラゴンがWAZの代理人に任命され

ディヒャントは大きな決定について、 ドラゴンを解雇した。われわれは彼を呼び ューマンは ヒャントの対立 ンと協議しなければならないことになっ 「ディヒャントはわれわれに相談なく 相手であるWAZのエ ーリッ 常にドラゴ 反戻した

のだ」と、

ドラゴン任命の理由を説明する。

尊重するものの、予算、 当たるが、その権限は強く、 クリーアが株を半分ずつ所有する両紙の子会社 紙の共通業務を担当する会社 持つ大衆紙 を所有した後、 のメディア市場を支配する勢いをみせてい プリントはさらにニュース雑誌「プロ ト」を設立した。メディアプリントはクローネと 「フォルマット」も傘下に加えて、 メディアプリントが仕切っている。 ところで、 『クリーア』の株五○%も取得し、 WAZは一九八七年にクローネの オーストリア第二位の発行部数を 制作、 両紙の編集の独立 広告などの分野 「メディアプリン オーストリ このメディ フィル」 ح 両 ア ア は は 株

はなく、 トは分裂させねばならない」と書いたというウィ が近いと書かれた。 0 ーンのローカル新聞 クロー 支配状況を批判するたびに、 オーストリアの高級紙 オーストリアとド ネの問題は単 机 倒産の危機に追い込まれ 毎週社説で「メディアプリ 『ファルター』 なる一 『シュタンダルト』はこ イツにまたがる背景を 新聞社 傘下の 0 内 雑誌に閉 洪

た国 際的 問 題でもある

(広瀬 英彦=東洋大学名誉教授)



お道部門にもリストラの波

でまとまった。
台湾では、報道部門で人員の流動性が高まって
台湾では、報道部門で人員の流動性が高まって
台湾では、報道部門で人員の流動性が高まって
台湾では、報道部門で人員の流動性が高まって

らあった。有効回答は媒体十二社、報道従事者百五十二人か従事する者を対象に今年一月に実施したもので、にの調査は、媒体社の人事部門と、報道業務に

今回、それが裏付けられた。働く女性の比率が比較的高いといわれていたが、者自らの回答では四七・三%。台湾では、媒体では、媒体社の回答によると四○・六%、報道従事は、媒体社の回答によると、追び、報道従事者の女性比率

下が七割を占め、六十歳以上の者(一改労動者は年齢は、報道従事者の回答によると、四十歳以での勤続は五・八二年だった。での勤続は五・八二年だった。

ベテラン層の薄さをうかがわせる。 六十五歳定年が一般的)は一%に満たなかった。 下が七割を占め、六十歳以上の者(一般労働者は 下が出りを占め、六十歳以上の者(一般労働者は

科出身である。また、六割以上がマスコミュニケーション関連学また、六割以上がマスコミュニケーション関連学割以上。修士以上の学位を持つものも三割いた。教育程度は、報道従事者の回答で、大学卒が八

用するということを意味する。十人離職するごとに、ほぼ九人だけ補充、新人採社員と離職社員の比は○・九一。つまり、これは媒体社にのみ質問した「新進離職率」──新入

全産業平均の〇・八 (十人離職して八人のみ補充)と比べればましかもしれないが、媒体社が不充。少なくとも、メディア業務の根幹にかかわるる。少なくとも、メディア業務の根幹にかかわる。

すると、それでなくても高めの「人員流動性」字は労働環境の悪化に直結する。取材報道の業務量が、職員の数の減少に伴って

者の比率)は、一三・三%だった。率」(従業員中、一年間のうちに所属社を離れた媒体社のみに質問した報道部門の「人員流動が、さらに高まることになる。

音協会では見ている。 万元なので、「突出して高いわけではない」と記 万元なので、「突出して高いわけではない」と記 は工業・サービス業全従事者の平均年収が約五十 割、六十万元から九十万元が三割だったが、これ 割、六十万元から九十万元が三割だったが、これ 湾元(一元=三・四円)から六十万元の者が四

> も尋ねた。 報道従事者に対しては、報道業務に関する意識

レベルと答えた者は五二%、不合格と答えた者はを与えられるレベルか否かを聞いたところ、合格まず、現在の仕事についての満足度。「合格点」

合格レベルの比率が少ない。

「福利厚生」「現在所属する媒体」「台湾メデ入」「福利厚生」「現在所属する媒体」「台湾メデ間」などは合格レベルの比率が比較的高く、「収間」などは合格レベルの比率が比較的高く、「収間」などは合格レベルの比率がした。

属する媒体には、そもそも組合がなかった。合に参加する者は約三割にとどまり、四割の者がなお、今回回答した報道従事者のうち、労働組

情勢を色濃く反映したものと言えそうだ。ラなどが相次いでいる。今回の調査は、こうしたけ、新聞など既存メディアの廃業、合併、リストけ、新聞など既存メディアの廃業、合併、リスト

(木原 正博=新聞協会総務部) (参考=記者協会機関誌「目撃者」三月号) 改造社、

春陽堂に続いて、

新潮社、

春秋社、

博文館、

大日本雄弁会講談社も

か)の印税が転がり込んだという。

大不況時代の出版業界ストセラーの王道

木村剛

共同通信社出版本部編集委員

昭和の初め、日本は金融大恐慌に見舞われ、出昭和の初め、日本は金融大恐慌に見舞われ、出いれの前の初め、日本は金融大恐慌に見舞われ、出いれの初め、日本は金融大恐慌に見舞われ、出いれの初め、日本は金融大恐慌に見舞われ、出いれの初め、日本は金融大恐慌に見舞われ、出いれの初め、日本は金融大恐慌に見舞われ、出いれの初め、日本は金融大恐慌に見舞われ、出いれい。

製もあった)、総ルビ付き六号活字 (8ポ見当) 造社の本でいうと、仕様は大型の菊判上製 を引きつける格別の魅力があったのだろう。 の三段組、五百二前後あった。つまり普通の単 ちなみに永井荷風はこのとき改造社と春陽堂か の豪華本が一円で買えたというところに、 が一円五十銭程度していた時代に、 このとき荷風 それぞれ旧作を集めた円本を出して、 十万部以上を売り切った。吉野俊彦氏によれ .本とは、いわば文学・思想の全集もので、 の下には五万円 (今で言えば 単行本四冊 、合わせ (特 上 読 改 者 行

る。

一に落ち込んでいる。いう間にしぼんだ。荷風の収入もたちまち八分のブームのさなかである。ただし、ブームはあっとつ二十銭の岩波文庫が創刊されるのは、この円本それぞれジャンルの異なる円本を出した。★印一

ても、 え、ついに約七万二千点となった。単純に計算し 二〇〇二年販売総額は六年連続マイナスの約二兆 版点数を増やしている様子が浮かび上がってく 発行部数は五千八百冊へと落ち込んでいる。 る。書籍の新刊点数は、 約九千五百億円と前年に比べわずかに増えてい 三千百億円。しかし、そのうち書籍の売り上げは に、出版各社は発行部数を絞りながら、必死で出 る計算になる。その一方、新刊一点当たりの平均 これを見る限り、平成大不況を乗り越えるため 究所の調査では、取り次ぎ経由の雑誌・書籍の ところで、 毎日二百点近い新刊が書店に流れ込んでい 最近の状況はどうだろう。 毎年二千点以上の割で増 出 |版科学

二十点のペースで発行されている。 ている。そのほか、 は D T P 十点近い新刊書を手がけているという。 出版している藤原書店でも四人の編集者が年間五 版社を中心に四十種類以上のものがしのぎを削っ 書店の・ 版ブー 方式による割安の少数部数印刷が可能に ムである。 本棚を眺めても新書コーナーには大手出 出版社を陰で支えているの 例えば新潮文庫は現在、 印刷技術が進歩して、 専門学術書を 現在で 毎月 自費

> なった。 が少なく、 も堂々の大ベストセラーとなった。 店頭在庫はまだかなり残っているが、 で七百十万部、 ター」シリーズ(全七部予定)が健闘し、一年間 どを活用してこの事業に乗り出す社が増えている。 いわれる。 に比べ微増した理由は、とりわけ「ハリー・ポッ しかし、 出版社にとって手間はか 出版不況の中、 買い切り制のこの通称「ハリポタ」、 確実に利益 約二百億円も稼いだのが大きいと が出るというので、 書籍の売り上げが前 ?かるが、 それにして リスク

ある。 付いていく。そして仲良しのロンやハーマイオニ たハリーは寄宿舎に入り、 育てられるが、十一歳の時、 しながらも魔法を学び、自分の持つ大きな力に気 ワーツへから入学許可証が届く。 ーなどと一緒に、 人公はどこにでもいそうな一人の弱々しい少年で この物語はいわゆる冒険ファンタジーだが、 両親のいないハリーは、 両親を死に追いやった恐るべき さまざまな困難に直 突然、魔法学校ホグ 叔母の家の物置 その生徒となっ 主 面

ていて、 と並べれば、これはどこかで読んだ物語と似てい く物語だっ [宮本武蔵] ることに気付くだろう。 い話なのだが、 「ハリポタ」は簡単に言えば、そんなたわいな の魔法使いに立ち向 読者をぐいぐいと引き付けていく。孤 師友、 たのである。 と同じく、 細部にいろいろと工夫が凝らされ 成長、 ほのかな愛、 そう、 スト ・セラーの王道を行 これは吉川英治 利

(財) 新聞通信調査会人事 6月 1 日

代表取締役 集担当 (時事通信社・エディター センター 安達 武 元

加 盟通信社大阪支社付=応召) 黒沢 |宅は高知市高見町四五。 |月四日死去。 正 氏 八十二歳。 (共同通信社 喪主は妻、 芫山 前立腺 口支局長、 がんのため 澄子さん。 元同

十五年度総会を開い は五月八日、 事 ·通信社友会 日比谷公園内の松本楼で、 (原野 た。 和夫会長、 五百六十六 平成

現況について、次のように述べた。 どを承認。次いで、榊原潤時事通信社長が社業の 原野会長のあいさつに続いて、 今年度予算案な

「共同、 国におけるヤンキース松井の取材に当たっても まず、イラク報道について「マスメ、マーケ 系双方の顧客から高い評価を得た」と報告。 タスも確実に上がっている」とOBを喜ばせ 時事両社が幹事を務めるなど、 時事の 米 ス 'n

スの読者が「ひと月で一万数千人増えた」と言 るとして「秋には新商 営業面では、 新J-COM と強調した。 -ビスについては依然苦境が続 顧客に喜ば NTTドコモのIモード・サー 品を投入し、 れている」。 についても 大攻勢をかけ しかし、 「コンテン いてい 金 ビ

> による早期退職は七十一人。若い人に道が拓け、給してきた終身年金を一括前払いした②優遇措置 総合運動施設、 は出向者の転籍などを進めて自立を促すととも 組織が活性化することを望んでいる③中央調査社 どと語った。 高コスト体質の改善を求めている④今年中に 方、 構造改革面では①七十歳以上のOBに支 三芳園売却のめどが立った――な

覇。 木彬公、 た。 (米寿は該当者なし、 このあと、 今回、喜寿のお 石野健治、 瀬浪勝元岡山支局長の音頭で乾杯し 祝いを受けた人は次の六氏 大村弘、 生年月日順)。 尾崎勝敏、 亀山幸夫、 藤 膝 元 鈴

集い、 信社長と遺族代表あいさつのあと、 九階ホールで開いた。 査会元理事長新井正義さんの一周忌を前に、 次々と献花。 十二日、ご遺族もお招きして関係者約五十人が 昨 年六月に九十七歳で亡くなられ **「新井さんをしのぶ会」**をプレスセンター 遺徳をしのんで献杯、 発起人の酒井新二元共同 懇談した。 た新聞 遺影の前 通 Ŧi. 相 月 通

講演 <u>ح</u> 新 会を開 聞通 講師は前日 信調査会は五月一 いた。 銀副総裁 演題は 一十二日、 「日銀生活をふり返っ 藤 原 作弥氏。 同盟クラブで

虎 ブ門 句

高 4 に 見 た ŋ 岬 0) 成 15 灯 4 六 月 17 郎

š

b

ے کے

0)

遍 路 宿 目 うそつきもたまにだまされ 宿皆ち の 木にも が っててみんない たれる る ,四月馬 花吹 雪 鹿 多圭子 博 義

丐

は「内外約六百人」に、同 グ」(14ページ) れぞれ訂 から3行目「″真の太陽″」 5月1日付 Ĕ (第四八七号) の中段6行目 は「"真の大義*」にそ (15ページ) 下段後ろ 「プレスウオッチン 「内外的六百人」

②サウジ・テロ事件の示すもの…高橋	①ニューズ社、衛星業界進出…金山	【海外情報】	多難な地上デジタル普及大森	【放送時評】	クラスター爆弾の非人道性池田	【プレスウオッチング】	NYタイムズの「問題」藤田	【メディア談話室】	木	マスコミ規制対応で教訓も…土方	イラク戦からサイバー戦へ…橋本	米仏対立の背景を考える秋山	イラク戦と北朝鮮問題川上	目 次 (六月号)
実 ::11	勉 : 7		幸男… 16		龍夫::14		博司 :: 12		剛久::23	健男::18	晃 : 8	民雄…4	高志…1	

印 刷 百座〇〇一二三座〇〇一二 東京都港区虎ノ門一―五―一六 一年分一五〇〇円(送料とも (〇三) 三五九三— 財団法人 新聞通信 平 印 刷 社 四―七三四六七番 「晩翠ビル四階) 調 查

④報道部門にもリストラの波…木③墺最大紙支配権めぐり抗争…広

原瀬

正 英 博 彦

22 21

©新聞通信調査会2003

会